

*県連のスケジュール

●9月		●10月		●11月	
1	月 常任理事会	1	水	1	土
2	火 緊急遭対会議	2	木	2	日
3	水	3	金	3	月 常任理事会
4	木	4	土	4	火
5	金	5	日	5	水
6	土 ●岩・沢搬出救助訓練(丹沢)	6	月 常任理事会	6	木
7	日 ●岩・沢搬出救助訓練(丹沢)	7	火	7	金
8	月	8	水	8	土
9	火 事務局長会議	9	木	9	日
10	水	10	金	10	月
11	木	11	土	11	火 事務局長会議
12	金	12	日	12	水
13	土	13	月	13	木
14	日	14	火 事務局長会議	14	金
15	月	15	水	15	土
16	火 事務局部会	16	木	16	日
17	水 リーダー学校座学	17	金	17	月 事務局部会
18	木	18	土	18	火
19	金	19	日	19	水
20	土 リーダー学校実技	20	月 事務局部会	20	木
21	日 ●(日)ハイキング学校実技	21	火	21	金
22	月	22	水	22	土
23	火 ■理事会	23	木 教育部会	23	日
24	水	24	金	24	月 自然保護委員会
25	木 ハイキング学校座学/教育部会	25	土 ●岩搬出救助訓練(奥多摩)	25	火 遭対部会
26	金	26	日 自然保護委員会	26	水
27	土	27	月	27	木 教育部会
28	日	28	火	28	金
29	月 自然保護委員会	29	水	29	土
30	火	30	木	30	日
		31	金		

■定期理事会のお知らせ

日時:9月23日(火・祝日)13:00~15:00

場所:県民サポートセンター/406号室

今回は多発する事故に向けての対策を中心に討議したいと思います。

理事が出席できない会や理事のいない会の代表の方の積極的な参加をお願いします。

<連盟ニュース> No. 225

Kanagawa

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822
横浜市神奈川区西神奈川
1-18-2 永田ビル3階
TEL/FAX 045-434-2726
発行責任者 中山 建生
編集責任者 吉村 光代
<http://www.k-rouzan.net/>

9 緊急遭対会議開催

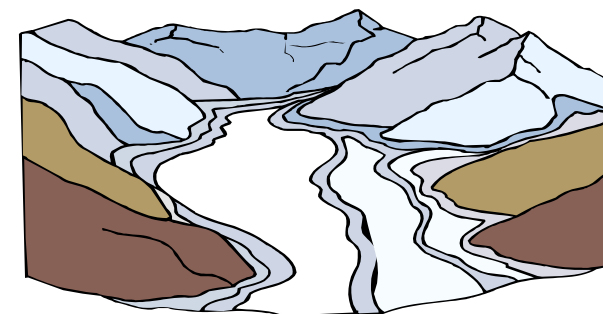
各会を招集し事故防止の呼びかけ

9月2日(火)PM7:00より県民サポートセンター301会議室において遭対部による緊急会議が開かれました。今回の会議は、神奈川県連盟内で続いている遭難事故発生に対して再発防止を呼びかけ各会での安全対策の見直しを図ってもらうため、各会の安全対策担当者及び三役を対象に出席召集がかけられたものです。

会議はほぼ予定通りの時間に開会、19会40名(未確認)が出席しました。中山理事長に続き大河内遭対部部長からの全体挨拶でスタートし、県連盟下で発生した遭難事故事例の報告(状況の報告と原因分析、今後の取り組みなど)がありました。

一連の事故に共通して言えるのは①ビギナーではなく経験者によるもの(初歩的なミスや過信が目立つ)、②典型的な事故のパターンである(道迷い、スリップ、懸垂中の落石、雪稜での滑落など)③会で対応できず、県連救助隊への要請が増えてきた、が挙げられ、「技術」よりも「意識」に要因があるとして、登山の基本的な注意事項を改めて各会々員に再確認して欲しい旨、大河内部長から安全登山推進の願いが出されました。

詳細の報告については後日、遭対部から出されます。



沢を読む楽しみ…

実施日 2003年8月23日(土)～24日(日)

コース 笛吹川東沢釜ノ沢

報告者 的場(カモの会)

沢を歩く…

初日はまだ沢に慣れていない事もあって「沢を歩く」という行為自体に新鮮さを感じました。読図ポイントを見極めて次にチェックすべき地形を頭に入れると、後はずーっと足下を見ながらポチポチ進みます。

最初の頃は足下がおぼつかず「次にどの石にのって、どの経路をとれば楽に行けるのか」とか「滑りそうな所をどう避ければいいのか」などといろいろ考えつつ。

結果としては講師が教えてくださったように「苔が生えていたりする水際を攻める」よりも「水の中を進む方が安全な場合が多い」ように思いました。

沢に泊まる…

久しぶりに天気の良い週末となりました。初日は行動終了時間ギリギリの3時頃にサイト地(広河原)になだれ込み、ツェルトも張るけどビールもしっかり冷やして宴会に備えます。その日はその辺の枯れ枝を皆で拾ってキャンプファイヤー。普通の登山じゃできないことばかり。ホントに沢って楽しいです。

沢に学ぶ…

勉強になったことをメモします。

「沢沿いに泊まる時はあらかじめ逃げる方向を全員で決めておく」。講師によると「雨が降ると沢の水かさは最初はちょっとづつ、チョロチョロチョロチョロ…。ド～ン!!」と増えるから油断しないように、と。

まだ経験した事はないけれど、増水時のことも考慮しておかないと沢では命に関わることもあるんだろうなァ。

これまで経験してきた登山とは違う注意すべきことが他にもたくさんありました。基本的に道は整備されていないし(あたりまえだけど)、崩壊地も多いので浮石とか剥がれやすい岩などがあります。ちょっと気を抜くとガラガラガラ…「ラク～!!」っていうことになります。どこが崩れるのかわからないので、登るとき、岩を引いて体を支えるのではなく、岩を押さえつけながら登るのだとか。

普通に登るのにも慣れてきたので、翌日は課題をひとつ決めてやる事にしました。前回のリーダー学校で「それなりにツルツルした面でも、よく見るとでこぼこがあるので、岩の弱点を見極めて攻めると登れます」というアドバイスがあったので早速実践してみました。

<p>相模勤労者山岳会 報告 蝦名政次 計44名 (男27:女17) 平均49歳</p>	<p>7月4～5日大朝日岳(1)、4～7日白馬→唐松岳(3)、5～6日水根沢(4)、サンザ洞本谷(3)、9日第1例会、13日ミスヒ沢(2)、14～9/3ガッシャールム、16～17日白馬岳(1)、17～21日飯豊連邦(1)、18～22日大日岳→剣岳(2)、19～21日滑川・奥山ノ沢(2)、23日第2例会、25～27日錫杖岳(壁)(8)、25～28日槍ヶ岳(子槍)(5)、25～27日釜の沢(3)、25～29日穂高→槍ヶ岳(1)、 8月1～3日川場谷(5)、1～4日霞沢岳(1)、1～2日谷川岳東尾根(2)、4～12日ヨセテ(2)、7～9日針ノ木・蓮華岳((9)、9～16日阿寒・斜里・羅臼岳(2)、10～12日吾妻川・四万川(1)、10～13日飯豊石転沢・大日岳(1)、12～16日燕→蝶ヶ岳(2)、13日第1例会、13～15日谷川岳(3)、13～17日高天原(3)、13～19日屏風・北尾根・滝谷(2)、15～20日烏帽子・船窪岳(1)、22～24日万太郎沢(4) 9月10日第1例会、24日第2例会、27～28日沢集中</p>
<p>小田原ナーゲル山の会 報告 青木義隆 会員36名 男24 女12 平均年齢42歳</p>	<p>8/1～3日白馬～不帰の陰～唐松(1) 8/2日毛勝山(1) 8/2富士山(1) 8/3奥秩父 五郎山(2) 8/2～3日北ア屏風岩雲稜ルート(1+2) 8/10日表丹沢 戸沢右俣(2) 8/9～12日鳥海山(2) 8/15～16日北アルプス 朝日岳(2) 8/16奥多摩・唐松尾山～笠取山(1) 8/16～17日北岳バットレス(1) 8/16～17日奥秩父・和名倉沢コース偵察(1) 8/18～19日新穂高～笠～双六～槍ヶ岳(1) 8/23～24日北岳バットレスDガリー奥壁・中央稜(1+4) 8/23～24日奥秩父・東沢～釜ノ沢県連学校(1) 8/24日小川谷(2) 8/30～31日例丹沢ウォッチング(1) 8/30～31日大雲取(2)</p>
<p>裏山探検隊 報告 大河内彩子</p>	<p>7月6日 三つ峠岩トレ1名、14日 集会(7+2見学)、27日 L学校セドノ沢2名、26日 広沢寺岩トレ2名 8月2日 唐松尾山1名、竜バミ沢L学校1名+3、3日 救助隊総会、9日 インドアFC1名、10日 三つ峠2名、中旬 福島合宿 9月初旬 レスキュートレ、月末 集会</p>

事務局会議報告

参加した会：川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、藤沢山の会、小田原ナーゲル、相模労山、横浜山楽会、カモの会、裏山探検隊、やま++ 以上11会

内容：各会からの代表的な山行報告。

8月の鳥海山遭難の報告(やま++)。県連救助隊の派遣の報告



<p>川崎勤労者山岳会 報告:佐々木利江 計46名 (男29:女17) 平均45歳</p>	<p>8月2日運営委員会、6日事後防止委員会、20日登山学校部会、27日例会2練)広沢寺(5)、木曾御獄山(1)他(1)3 葛葉本谷(3)、多摩川海沢(4)、1~3 鈴鹿山脈・愛知川添谷(1)他(1)、5~6 富士山(1)他(1)、9~13 練)剣(4)、13~17 恋ノ又沢(6)、9~13 南ア・聖岳(1)、10~13 谷川・朝日岳縦走コース(1)、12~13 飯豊連峰(2)、16~19 小川山・FC とハイキング(1)他(4)、16~17 会津駒ヶ岳(2)、18 唐松岳(1)他(1)、21~25 槍ヶ岳(1)他(37)、23 丹沢・勘七ノ沢(1)他(1)、22~23 西穂・焼岳(1)他(1)、22~24 県)登山学校沢実技(2)他(6)、23~24 女峰山・男体山(1)、30~31 練)三つ峠(7)、31 登)逆川(7) 9月3日運営委員会、10日山行例会、18事故防止委員会、24日例会7連)つづら岩、12~15連)前穂・北尾根、20~21連)会山行、27~28連)三つ峠、運)沢集中・鷹巢I7ア 10月1日運営委員会、8日山行例会、29例会4連)日和田山、10~13連)穂高・屏風</p>
<p>横浜山楽会 報告 菅野藤雄 会員:27名 男15名 女12名 平均年齢 57歳</p>	<p>7月2日 例会 出席者 18名 7月19日~20日 夏山山行 瑞かき山 金峰山 参加者 10名 7月26日~28日 出羽山地 森吉山 参加者 2名 8月予定 8月6日 例会 県民サポートセンター 8月30日 チョモランマ報告会 県民サポートセンター 8月31日 岩トレ 広沢寺</p>
<p>アルパインクラブ横浜 報告:藤原博美 計32名 (男20:女12) 平均37歳</p>	<p>7月 22日富士山(1)、25日富士山(1)、27日丹沢セドの沢左俣(リーダー学校 3)、27日丹沢新茅の沢(リーダー学校 2)、27日谷川岳ヒツゴー沢(2)、26~27日羅臼岳・硫黄岳(1 他 1)、28~29日奥秩父滝川古礼沢(2) 8月 20日運営委員会、26日例会、30~31日岩登り講習会 1~3日白山(1 他 39)、1~4日前穂北尾根・北穂東稜(2)、2~3日奥穂高~前穂高岳(3)、2日西丹沢中川大滝沢本流(2 他1)、2日富士山(1)、3日三ツ峠(2)、3日奥秩父笛吹川ヌク沢左俣右沢(2)、7日西吾妻(1)、3~22日モンブラン他(1)、7~17日モンブラン(1 他 1)、7~17日シャモニ周辺トレッキング(2)、9~15日白馬~後立山~日本海(1)、9~13日小川山(2 他 1)、10日小川山(4)、10日滝小山(1 他 1)、10~11日北ハケ岳(1 他 1)、10~17日唐松岳~上高地(1)、16日尾白川(2)、21~24日朝日連峰(1)、23~24日鋸岳(2)、23~24日槍ヶ岳(1 他9)、24日小川山(2)、23~25日奥穂高岳(1 他 1)、23~24日奥秩父東沢釜の沢(リーダー学校5)、30~31日岩登り講習会小川山(15) 9月 10・24日例会、17日運営委員会</p>
<p>川崎柴笛クラブ 報告 : 三枝智恵 計27名 (男21 女6) 平均44歳</p>	<p>7月 5日-奥秩父/ナメラ沢(1+10) 5~6日-<教育山行>奥秩父/小雲取谷(2) 6日-御岳/鈴ヶ沢(1+3) 12日-富士山(1) 13日-<ポツカトレ>丹沢/塔の岳(7+1) 16日-霧ヶ峰/車山(1) 19-20日-北ア/鹿島槍(2) 19-21日-<月例山行>北ア/笠が岳(2) 21日-RCT/幕岩(2+4) 26-27日-北ア/西穂高(1+6) 27日-丹沢/塔の岳(1) 27日-富士山(1) 28-29日-榛名山/掃部ヶ岳(1+5) 28-29日-尾瀬/至仏岳(1+1) 28-30日-北ア/燕岳・常念・蝶(1) 30日-RCT/三ツ峠(1+1) 31-1日-RC/一の倉(1+1) 31-1日-中ア/木曾駒が岳(1+1) 8月 3日-教育山行(沢登り)・奥秩父/竜喰谷(7) 2-3日-飯豊/七滝沢(1+3)</p>

沢で泳ぐ…

よ〜く岩の面を観察すると確かに表面が波打っています。斜度はそんなにキツくはないので窪地を探しちょっと立ってみました。バランスがとれば普通に歩けそうです。小さな突起でもそっと乗ってみると結構大丈夫、という気がしてきました。沢靴は靴底がフェルト地なので、そこに突起を引っ掛けて登るイメージを頭に描きながら行きました。クライミングもそうですが、単純に見える「足を使って登る」ことでも「頭を使って」楽しめることを実感しました。

沢を泳ぐのも気持ちよかったし、山頂から霞がかかった富士山がドン！と構える姿を見ると「やっぱり来てよかった…」としみじみ思うのでした。

いろいろと勉強させてもらい、大満足の山行となりました。

今回は同じ笛吹川東沢で中級の実技も行なわれましたが、その山行中に落石による事故で受講生1名が負傷しました。以下、簡単に概容を報告します。

事故発生現場 笛吹川東沢西ナメの出合付近

事故発生時間 8月23日午後12時頃

事故者 45歳男性

状況(本人の報告より)

東沢のゴーストを歩行中、大きな岩を越えていたところ、手でおさえしていた石(頭3つ分くらい)が右足の上に滑り落ち直撃。右足の甲をひどく打撃。痛みもあり、もともとビバーク予定地近くであったため、その場で中級パーティはビバーク。事故者は数時間、足を沢水で冷やした後、湿布にて手当て。

翌日は事故者はビバーク地にて停滞後、皆とともに自力下山。

病院での診断結果

右足小指の骨(足の甲)にヒビが入っており(骨折)、全治3~6週間と診断。完全に折れていないことと場所的に負担があまりかからないことから湿布+包帯(あるいはテープ)での固定で治療。ひねらないように要注意。

原因

本人の不注意以外のなにものでもない状況です。遠因を言えば「海外出張後疲れが十分取れぬまま、毎週山行を続け、疲労が貯まっていたことがあげられます。

教育部の事故に対する安全対策考

遠因は本人が指摘していることと、実技前夜の睡眠時間が4~5時間と十分でなかったことが挙げられるであろう。事故者の後述では実技中「きょうは調子がおかしい」と感じていたようでそこからくる不安感が足運びを悪くしたことも考えられる。次回以降、講師は実技出発前に「体調面」「精神面」での確認・観察を行なう事、実施中もそのような不安定さを観察すること、それがCLの重要な任務であることを指導していく。

ハイキング委員会報告

加藤正敏（藤沢山の会）

2003年度2月～7月のまとめ

今年度は以下の目標を立て取り組みました。

- ハイキングリーダー学校の開催
- 講師の確保と十分な連携
- 講師の充実とテキスト作り
- 全国ハイキング交流集会への参加
- 交流ハイキングの実施

《ハイキングリーダー学校》

第10期ハイキングリーダー学校は3月27日の入校式に5名の受講者を迎えスタートし、延べ5回の机上講習と4回の実技山行を行ないました。

活動内容／机上講習 3月27日 入校式 ハイキングリーダーとは
 4月24日 山行をするためには「計画書、報告書の書き方」
 5月22日 山行中のアクシデント「道迷い」
 6月26日 山の中の天気「天気図の見方」
 7月24日 救急法

実時講習 4月13日 三浦アルプス（逗子）
 5月11日 鷹取山（湘南）
 6月7日・8日 テント山行（丹沢）
 7月13日 鎌倉・横浜の地図読み山行

- 総括／①講師の確保と十分な連携では打ち合わせが足りなかった。
 ②講師の充実とテキスト作りでは、講習内容の変更はあったが実技要項をまとめた。
 ③全国ハイキング交流集会に参加した。
 ④交流ハイキングは3月14日～16日、伊豆七島の新島・式根島で実施。各会の仲間との交流を行ないました。

8月の実技報告／

24日、葛葉沢の沢登りを実施しました。コースは葛葉の泉から大平橋まで。大平橋から大倉まではハイキングです。葛葉の泉の前で少しロープワークを行い、ザイルを使った登り方や高巻きの方法等を学びました。皆さん、はじめは不安もあったようですが、思っていたより面白かったとの感想も聞かれました。

次回は9月24日、大山北尾根です。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

<p>藤沢山の会 報告 清水 守 計88名 (男31:女57) 平均59歳</p>	<p>8月 1～3日乗鞍岳(8)、7/25～8/2 スイス(2)、2～5日飯豊連峰(5)、8～12日飯豊連峰(7)、12～15日笠ヶ岳(7)、17日飯盛山(5)、6～26日インド(3)、8～21日中国・天山(1)、21～22日西穂高岳(4)、20～24日霞沢岳(6)、22～24日常念岳(13)、22～24日蝶ヶ岳(13) 夏山集中登山にて、23日徳沢に集合(25)、27日例会(33) 9月 3日運営委、10日・24日例会、6日花の観察会・高尾山、20～21日 沢登り・巻機山、26～27日バスハイク・那須岳、 10月 1日運営委、8日・22日例会、11日～12日テント泊(実技)、18～19日岩登り(実践)、26日クリーンハイク・大野山</p>
<p>雪童山の会 報告 繁村純夫 計16名 (男11:女5) 平均41歳</p>	<p>7月 6日 水無川 源次郎沢(6)10日 例会 13日 西丹沢 マスキ嵐沢(2+1)19～20日 硫黄岳～横岳～赤岳(2+1)20日 塔の岳 大倉尾根 (1)21～22日 真教寺尾根～赤岳～県界尾根(2+1) 23日 例会 26日 丹沢 四十八瀬川 小草平の沢 (2)27日 鷹取山RCT(7) 30日 事故反省会 8月 2～3日 平が岳(1+3)3日 三つ峠 RCT(5)6日 夏合宿ミーティング 7～17日 モンブラン (1+2)9～14日 プナ立尾根～西鎌尾根～槍ヶ岳～北穂～涸沢(1)12～14日 西穂～奥穂～涸沢(1)14～17日 夏合宿 北穂東稜 前穂北尾根 (7)27日 例会 31日 西丹沢 小川谷廊下 9月 6～7日 会山行 湯檜曾川本谷 11日 例会 24日 例会 28日 確保トレーニング</p>
<p>川崎ハイキングクラブ 報告 小柳 康博</p>	<p>7/24～26 木曾御嶽山 6名 7/26～29 前穂高 奥穂高 13名 7/27 南高尾山稜 14名 8/3 館内駅～新子安駅 14名 8/4～6 塩見岳/南ア 5名 8/9～10 湯の丸山/軽井沢 8名 8/24 奥多摩 8/28 鳥ノ胸山 8/29～30 谷川岳 8/30～31 高尾～五日市 9/7 陣馬山 9/14 川苔山 9/14 鎌倉 9/20 大室山 9/20～23 裏剣 9/21 剣崎 9/21 平塚駅～かしわ台 9/21 三国山 9/25～28 燕岳～大天井岳～常念岳 9/29 滝子山</p>
<p>横浜わらび山の会 報告:野尻邦夫 計16名 (男4:女12) 平均54歳</p>	<p>7月 6日一谷川岳 20日一雁が腹摺山 20～21日一八ヶ岳(4) 26日一定例会 8月 5～7日一奥穂高岳(3) 23～24日一栗駒山、巖美景 24日一大蔵高丸、大谷ヶ丸 9月 3日一日本橋～品川駅 6～7日一秋田駒ヶ岳 7日一滝子山 13～15日一庚申山、皇海山 28～29日一鬼怒沼</p>
<p>みずなら山の会 報告 松浦恵子: 計37名 (男24:女13) 平均54歳</p>	<p>7月 2日 例会、1～3日尾瀬(1) 5日黒檜山(1+2) 5日八ヶ岳地獄谷・沢(1+1) 5～6日谷川一の倉・岩(1+1) 6日大山川・沢(6) 8日丹沢(3) 11日八ヶ岳(1) 12日セドの左俣・沢(4) 12日鷹取岩(2) 12日環七の沢(1+2) 12～13日八ヶ岳(2+1) 18～21日飯豊連峰(4) 19～20日丹沢主脈縦走(3) 19～21日南アルプス東岳～赤石岳(3+1) 20～21日八ヶ岳(1) 20日秋田乳頭山～笹森山(1) 21日大菩薩嶺(1+3) 21日幕岩(1+4) 24日沢机上学習(5) 24～27日北アルプス西穂～奥穂高岳(1) 25～28日北アルプス立山～剣岳(1) 25～28日飯豊連峰(2+4) 26日鷹取・岩(3+1) 26～27日新芽ノ沢・セドノ左俣沢(3) 27日入笠山(1) 27～28日皇海山～武尊山(1+1) アマチャ無線講習会(10日・15日・17日・23日・29日) 8月 5日 例会 9月 3日 例会</p>